

●スマイルの会(田原南部校区で活躍している女性防災グループ)

地域で防災意識を高めようと、防災研修会や田原南部小学校での防災キャンプに協力しています。非常食作りや防災グッズ作り、ワールドカフェ(自由な雰囲気でお話し合う手法)で防災についての話し合いなどさまざまな活動を地域や学校と連携して実施しています。ここでは、スマイルの会の会員である富田さよ子さん(大久保町)のご自宅の備えを見せてもらいました。

防災グッズを見つけるのが楽しくて



▲富田さよ子さん

家具固定などの防災グッズは、ホームセンターで手軽に使えるものがたくさん売っています。いろいろ探すのが好きな夫と一緒に、楽しみながら購入しています。

備えておくべきものは?

災害時、食料・物資がいつ届くか分からないことも考えて、自分たちである程度の食料・水などは備えておくとういと思います。食品は消費期限を見えるところに書いておくといいですね。家が安全な場合は自宅避難も可能です。その際は、避難所に何人自宅避難しているかを報告しておきましょう。トイレも自宅できるように準備しておくとう安心です。

ご自宅の防災対策を見せてください

●滑り止めジェルパッド



テレビや棚の下に敷くだけで固定

●飛び出し防止フック



形が自由に変えられて普段の開閉も楽

●懐中電灯



動線に何か所か設置している

●転倒防止テープ



上と下の棚をつなぐテープ

●乳幼児や妊婦がいる場合
母子手帳、紙おむつ、おしりふき、抱っこひも、離乳



◆非常持ち出し袋を自分の家仕様にしよう
一般的な非常持ち出し袋をお持ちの方は、ぜひそこに家族構成に合ったものを加えてみましょう。

本市では、「女性の視点で考える 家族のために「今」できること」をテーマに「防災とたはら暮らし」を作成しました。ここでは、一部をご紹介します。



防災とたはら暮らし

▼防災対策課 ☎23,3548
この他にも、普段の生活の中で取り入れられる防災対策を紹介しています。防災対策課では、この冊子を使い4月から「市政ほーもん講座」も実施します。詳しくは、防災対策課へお問い合わせください。

●女性の場合
生理用品(1周期分)、おりものシート、携帯用のビデ・軟膏、自分のサイズに合った下着(上下)、汗拭きシート、スキンケア用品、ポーチなど



●高齢者・介護者などがある場合
大人用紙おむつ、紙パンツ、杖、入れ歯・入れ歯洗浄剤・入れ歯保管ケース、老眼鏡、身元を記入したものを、介護用品、口腔ウエットティッシュ、マウスウオッシュ・液体歯磨きなど



食、粉ミルク(液体ミルク)、おやつ、使い捨てスプーン・紙コップ類、おもちゃなど